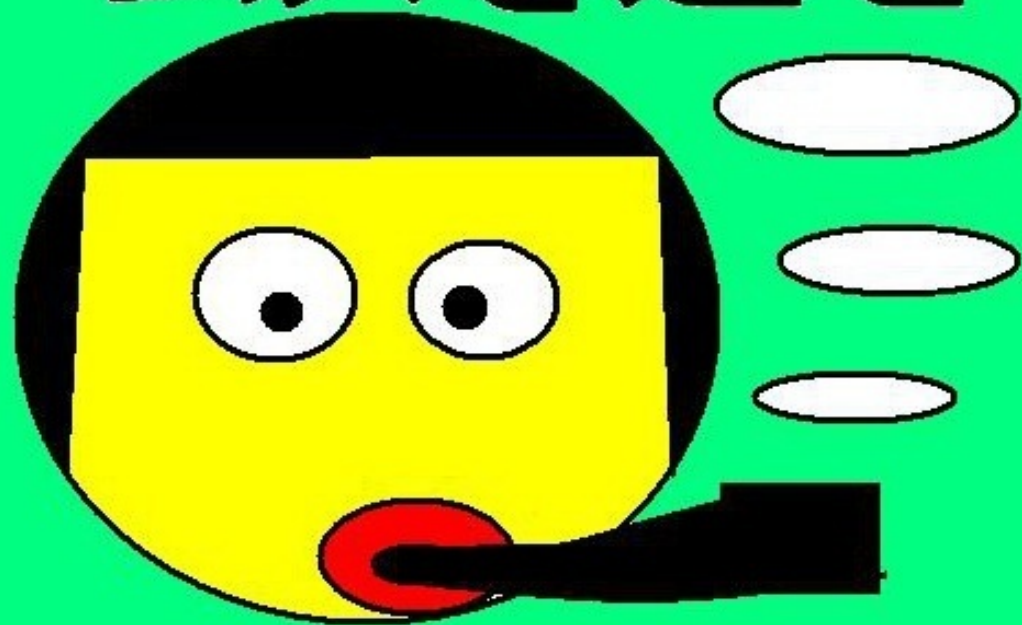


ホームズを返せ



インチ・バイ・インチ

ホームズを返せ！

作：インチ・バイ・インチ

ドラマンはローラースケートをしていたが、突然の非常ベルにこけた。

バン！

とドアが開いて入ってきたのは

「子ドロ」

手榴弾が投げつけられ、子ドロ、ドラマン、ホームズ、パースーマンが四人で銃撃して爆発させた。

パースーマン「ちょろいちょろい・・・まったくくそー。」

突然格納庫に向かうパースーマン、「ずるいぞ」「でもこっちの方がいい」

パースーマン、ドラマン車庫よりロッキードSR71A（ブラックバード）でぶちやぶって離陸！

ドラマン「ムキー！」

「追いかけるー」車庫をやぶる車。

車でおいかけろが、ホームズがマイクで叫びだす、「えー、お父さん、仕事場に来ちゃだめっていったじゃない！お前はまだ子供だ！（白戸さんのつもり）へいへいカモンカモンカモン」

「うるせーアホ」

ぽいっとホームズが投げ落とされた。

そこへ、なぜかパースーマンのヘリが「なでえーホームズのおっさんじゅわれーか？」

ホームズが「イエーイ」と縄梯子を登りだすと「あっ！」

「ヘイ、ジェットタンクよ。」

操縦士のパースーマンがにげだした。

ホームズ銃撃、みごとタンクに命中「お見事。」

チューン。

そこへきたのは、ブラックバード。

もうとびのっている。

「ふー」ヘリに乗ったホームズ「ぐふふふー」と自慢の笑み。

ドガンと二発ミサイル。

「俺もまぬけではねーぜ。」とはいうものの

パースーマンのブラックバードは雲にまぎれ見事に撃ち落された。

ありゃりゃ？

パラシュートで脱出。

しかも上に銃撃して「こーするとはやくつくのだ。」

落ちたとたん、ヘリを機関砲で狙撃。

ゴーン！

「モー！イカッタ！」

血眼になって叫ぶホームズ。

そこヘシティターボ男が突然けり！

「ゲボ」

えい！ミイラ男のデストロイドが4人で銃撃「ゲボ」

ウ！じたばた男のチョップ「ゲボ」

バズーカージョーが撃つ「ゲボ」

「ヘルプヘルプ」ヘルプマンや？仮面、はきそーめんの登場だ、「おえー」

一方、ドラマンとパースーマンの取っ組み合いが続いていた。

「ナンバーホームズをどうした。」「おれのところじゃホオムズなんだ！」

「ホオムズ？なんだ？そりゃ？」

不思議な顔をするドラマン。

そりゃそうだ、二人は違う作者（兄弟）の描いた漫画のキャラクタを共有していたのだ。

そこへ手紙、“ZZZ総統より、組をつくって勝負しよう。ホオームズは人質にした。”

「何！」

「パースーマン腕のたつやつを集めろ！」

一週間後、ふくそーめん。ぬくドロ。ガチガチ、子分。ジョナサン。マーチン。が集まって部下についた。敵陣地は確認した。

あの丘に出発！

その時ZZZのバズーカーが連射。

「ふくそーめんがやられた。ぬくドロもだ。子分もやられた。やばい。」

敵のヘリが飛んで来た。爆弾を落とす気だ。

ジョナサンが撃つ。

「アホーおれたちゃ一万mのところ飛んでるんだぜ。」

ところが、デストロイドの握った爆弾が撃たれた。「ムギユ」

「ぐっしっしっしい、二万mをゆく偵察機ですら撃ち落す超高級バズーカーだよ。」

ギエー！！

次の瞬間だった、ジョナサンは帽子をデストロイドに投げつけ、ナイフをじたばた男に投げさし、次のデストロイドを撃ち抜き、はきそーめんをけり殺していたのだ。

「ジョナサンよくやった。」「へ？おれなんかしたっけ？」

ワーワー！デストロイドが隊を組んできた、二百人はいるぞ。

手榴弾をなげるが、間に合わない。

ガチガチが「おれの子分だってやられたんだ、だまってみていられるか。」

巨大な大砲をかつぐ。

「だめだ！もう来た、避難だ！」

ドラマンが倒している。

それで「何千匹でもこい。粉にしてやる。」

「うわーっ！」ZZZが爆風とともに粉になった。二人はコマとび（漫画）で避難。

攻撃開始！OK！

あっ！丘にいつのまにかマンションがたっている？

ドラマン「調べてみよう。」

トラックで登る。

とおっ！シャッ！「えい！」

飛び降りてきたシティーボー男は広刃の剣に串刺しになった。

シャッ！シャッ！

？仮面、バズーカジョーを頭突きで受け止めるドラマン。

？仮面はドラマンの太極拳でバラバラになった。

ジョーの弾もかわされて、ドラマンはジョーを太極拳でしとめた。

ホームズが「ヨッ！」と現れた。よかった。よかった。

完

ホームズを返せ！

<http://p.booklog.jp/book/99896>

著者：インチ・バイ・インチ

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/beroman/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/99896>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/99896>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社ブックログ